



フェリー建造調査特別委員会視察

平成22年3月定例会において、フェリーの新造船建造に関する調査を行うことを目的に、全議員で構成するフェリー建造調査特別委員会(内田竹保委員長)が設置されました。

平成22年5月17日から20日の日程で、鹿児島県、佐賀県、熊本県、長崎県においてバリアフリー対応型フェリー等の視察調査を行いました。

写真：フェリーみしまの船員と視察団



▲身障者用スロープとエレベーター



▲バリアフリー化粧室



▲フェリーニューこしき〔鹿児島県 甕(こしき)島〕



▲エメラルドからつ〔長崎県 壱岐島〕



▲造船所視察

第3回(3月)定例会 平成22年度予算	2・3ページ
第3回(3月)定例会 一般質問	4～7ページ
第3回(3月)定例会 議案概要	8・9ページ
第4回臨時会の概要、追跡、平成21年議会運営状況	10・11ページ
議会の活動	12ページ

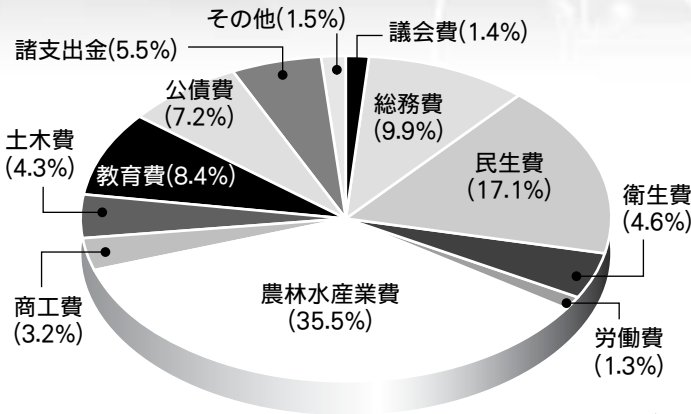
一般会計は45億8,500万円

前年度比3億7,300万円(8.8%)の増

平成22年
第3回
3月定例会

平成22年第3回(3月)定例会を、3月9日から18日までの10日間の会期で開きました。本定例会では、平成22年度一般会計及び特別会計当初予算をはじめ、平成21年度補正予算、議員提出の意見書・決議案など40件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。(審議結果の概要は8~9ページをご覧ください。)

また、開会初日には村長の施政方針が表明されたほか、一般質問が行われ、4人の議員が村の対応や考えをいただきました。



【歳出】

議会費	6,278万9千円
総務費	4億5,594万8千円
民生費	7億8,591万2千円
衛生費	2億1,278万8千円
労働費	5,983万円
農林水産業費	16億2,691万円
商工費	1億4,448万円
土木費	1億9,532万7千円
教育費	3億8,737万1千円
公債費	3億3,129万1千円
諸支出金	2億5,345万5千円
その他	
消防費	1,539万7千円
災害復旧費	350万2千円
予備費	5,000万円

一般会計の当初予算が前年度に比べ8.8%の増額となった主な要因は、国補助によるアマギ溜池改修工事、県の補助によるフェリー建造事業、渡り地区・東前地区の畑かん施設整備、西崎地区の防風林整備等、事業費の増によるものです。

賛成

討論

反対

【一般会計予算】

子牛生産奨励金の復活を望む

これまで難渋した黒糖工場建設が関係機関との合意形成や支援協力により、工事着工に向けて着々と準備が進められている。これまでの粘り強く、ぶれない姿勢で臨んだ村当局に対し敬意を表する。

本予算案には、懸案事項であったフェリー代船建造計画が、旧軍飛行場用地問題地主会の皆さんの伊江村の振興に対する熱い思いがあり、今回の予算化に至った。また、これまで議会側から提案、要望をしてきた出産待機時の宿泊及び妊婦健診時の船賃助成、高校生の船賃助成、幼児児童生徒のバス賃助成等も継続して予算化されている。

ラム酒製造の委託管理先等については、いささか疑問が残るが、行政の支援を受け、委託先が企業努力に一丸となって取り組み不安を払拭する体制構築を期待したい。

今回、畜産業において優良繁殖雌牛の更新事業助成金が新設された。今議会中、各議員から提案、要望が出された子牛生産奨励金の復活についても今後再検討してほしい。

施政方針には、11項目の多岐にわたり主要施策が示され、村長の村政運営に並々ならぬ意欲がうかがえる。経済、景気不況から脱しえない現状の中、村民が心を一つにして取り組めば、明るい展望が開けるものと確信し、賛成討論とする。

内田 竹保 議員

子牛生産奨励金に1,000万円を

一般会計予算全体については賛成である。しかし、ぜひとも子牛生産奨励金の復活を実現してもらいたい。予備費から子牛生産奨励金の1,000万円を計上して、歳入歳出合計45億8,500万円になるよう希望する。

友寄 祐吉 議員

【船舶運航事業会計予算】

バリアフリー化された新造船に期待

離島村であるがゆえに生活基盤である交通手段と経済を支える交通機関としてフェリーが果たす役割は大きい。

今回の建造計画に当たっては、旧軍飛行場用地問題地主会の皆さんが歴史に残る英断をされたことに敬意を表する。

本村は、フェリー2隻を所有しているが、建造以来「いえしま」が23年、「ぐすく」が18年経過し、バリアフリー化が乏しく、高齢者や体の不自由な方々が不便を来している現状にあり、新造船にはバリアフリー化が図られるものと期待し、今後とも安定した船舶運航事業経営が見込まれることから、本案に賛成する。

内田 竹保 議員

【一般会計予算】

ラム酒製造委託について明確な方針を

議会費の条例改定と整合性のない予算計上については、条例改定の方法と予算編成の時期がずれたためという説明だったが、予算とはいえ、予算には条例改定による数値の変動を反映させるべきである。

農林水産業費では、1農家当たり1頭、180頭分を助成する優良繁殖雌牛更新助成金が予算計上されたが、その成果が出るまでは3年以上の時間を要し、和牛生産者の経営危機を克服するための対策としては即効性に欠ける。村農業の重要分野である畜産業に対して村独自の緊急対策を行うことを強く望む。

商工費のラム酒製造委託金に関して、委託先予定の伊江村農産物食品加工センターは、今後6年間の赤字計画である。ラム酒等の製造収支計画は、3年目には黒字になる計画だが、机上の計画が実現できるかどうか疑問だ。金融機関から融資も受けられない赤字企業に、2年間で2,500万円もの大金をかけて製品開発を委託し、計画どおり行かなかった場合どうするのか、村は明確な方針を持つべきである。

土木費では、これまで分散して計上されていた事業費が統一して計上された。このように事業費を移動すると、款ごとの決算を過去数年間の比較をする場合に支障を来す。これまでどおりの予算計上の方法に戻すべきである。

本予算案にも自衛官募集業務委託金が計上された。自衛隊の強化に反対する立場から、自衛官募集業務委託金は返上すべきであることを要求し反対討論とする。

名嘉 實 議員

【船舶運航事業会計予算】

米軍の訓練に加担するな

本予算案に対しこれまで反対を続けてきた理由は、米軍の航送は①米軍の訓練に村が積極的に加担することになる。②米軍が運ぶ物資に危険物があるかないか確認できていない。③不気味で怖いと感じている乗船客がおり観光客にも良い印象を与えない。④米兵がターミナルの廊下等にたむろし迷惑である。⑤船員からも迷惑車両だという声がある。

タンクローリーについては、危険物であるかどうか毎回チェックしている。たむろをしないよう米軍に申し込んでいるとの答弁があり一定の前進ではあるが、戦争準備の訓練に村が積極的に加担すること。乗船客に不気味で怖いという不安感を与えることについては解消されていない。

本予算案にも米軍の航送計画が入っている。米軍の訓練に村が積極的に加担する本予算案には反対する。

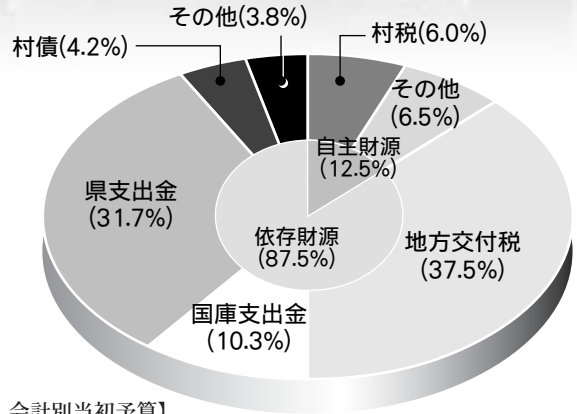
名嘉 實 議員

平成22年度 予算総額 64億1,711万6千円

平成22年度各会計の当初予算案は、全議員で構成する予算審査特別委員会に付託され、執行部に関係資料の提出や説明を求めるなど、集中的に審査を行いました。その結果、付託された7議案は、すべて原案のとおり可決すべきものと決定されました。

自主財源	村税	2億7,408万9千円
	分担金及び負担金	2,550万1千円
	使用料及び手数料	6,783万5千円
	財産収入	1億1,125万5千円
	寄附金	2千円
	繰入金	6,289万2千円
	繰越金	1千円
	諸収入	3,200万7千円
依存財源	地方交付税	17億2,000万円
	国庫支出金	4億7,145万6千円
	県支出金	14億5,250万1千円
	村債	1億9,480万円
	地方譲与税	5,027万5千円
	利子割交付金	60万7千円
	県民税配当割市町村交付金	13万8千円
	株式等譲渡所得割交付金	9万1千円
	地方消費税交付金	3,258万6千円
	ゴルフ場利用税交付金	248万6千円
	自動車取得税交付金	1,098万1千円
	国有提供施設等所在市町村交付金	6,606万2千円
	地方特例交付金	766万5千円
	交通安全対策特別交付金	177万円

【歳入】



【平成22年度 会計別当初予算】

会計名	予算額	前年度比増減額	伸率
一般会計	45億8,500万円	3億7,300万円	8.8%
診療所特別会計	1億5,100万円	△700万円	△4.4%
国民健康保険特別会計	9億7,900万円	1,600万円	1.6%
老人保健特別会計	21万2千円	△88万8千円	1.8%
後期高齢者医療特別会計	5,400万円	100万円	△80.7%
水道事業会計	1億4,333万1千円	0	0
船舶運航事業会計	5億457万3千円	△819万9千円	△1.6%
合計	64億1,711万6千円	3億7,391万3千円	6.2%

予算審査特別委員会質疑

問 ゴルフ場の中にティーツイギシガマがあるが、そこは、いけば聖地である。戦争の悲惨さを後世に伝えるのが我々の役目だ。隣接するアハシガマと道路でつなぐ等、何とか戦跡として残せないか。

答 内部でもいろいろ検討中だがゴルフ場との兼ね合い等もあり、なかなか手をつけられず、結論に至っていない。総合的に今一度検討したい。

問 優良繁殖雌牛更新助成は該当する人、しない人が出てくる。畜産農家からは、子牛生産奨励金の復活を願う声がある。今は畜産に力を入れるべきではないか。

答 子牛生産奨励金は、農家により喜びられないとの意見等もあり、行政改革の中で削減した経緯がある。それらが本当に必要なのか、再度、十分検討した上で、予算の方向付けをしたい。

問 ラム酒・カクテル・ソーダ製造の委託料に、平成22年度1500万円、平成23年度1000万円を支出予定だが、収支計画どおりにかかった場合、それ以後も村はお金を出していくのか。

答 赤字は企業サイドで解決すべきものだと思っている。行政がつくって、民間にそういった可能性を挑戦させながら、企業でいろいろ計画を練っていくことも必要だと思う。自立できる企業を育成して初めて伊江村の将来像が出てくるので

はないか。

問 政府は新年度から太陽光設置補助を行う予定だ。各区公民館に太陽光を導入する計画はないか。

答 設置工事は国の事業でもできるが、7、8年後、取り替え時期がきたときの経費や維持管理費を村単費で負担できるのかという疑問がある。今すぐに設置するとは明言できない。

問 この1年間、メッシュユサポートのドクターヘリが多くの方々の支援によって稼働することができたが、4月からの運航は決まっていない状況である。本村もいくらか拠出をする必要はないか。

答 これまでもチャリティー等々な支援をしてきたが、今後でもできるだけ支援体制を整えるべきと考える。行政として何ができるのか、更に検討したい。

問 深海ザメの新漁法開拓漁具購入補助金で今回は何隻、何%補助率での計算か。

答 申請予定は4名である。漁具購入に120万を見込んでおり、そのうち30%の補助率で36万を漁協に助成する。

問 小麦の害鳥について対処策はないのか。

答 キンバラというスズメの仲間である留鳥で、夏場は牧草の種を食べている。今後、研究機関とも相談して対策を考えたい。

村独自の緊急経済支援対策を 実施せよ

村長／国の支援を受けながら、
並行して検討する



島袋 義範 議員

問 長引く不況の中で肉用牛の価格が低迷し、「牛どころ伊江島」といえども他にもれず今年の初セリは、前回のセリ価格に比べ一頭当たり1万3000円余も安くなった。畜産農家の皆さんは、大変なショックを受けられたと思う。このまま安値状態が続けば、畜産経営を継続していくことは難しく、廃業する方も出てくるのではないかと心配する。

また、漁業面では、昨今、魚の価格の安値が続いている上に、平成19年度から平成20年度にかけて好調だったソデイカの販売価格はピーク時のキロ当たり850円から今年は500円まで値下がりし、一部では販売できず在庫を抱えている状況が続いている。ソデイカ漁は、遠く南北大東島付近での操業となり燃料費が高つくことから、出航すればするほど赤字になり出漁を見合わせる方もいる。

そこで、この経済不況を少しでも支援するために、村独自による緊急経済支援策を早急に実施すべきだと考える。行政改革等で助成が廃止され、または助成額が減額された各種補助事業の一時の復活や現行の補助制度の補助額を増額し、村民経済を支援できないか。

答 牛肉需要の低下に伴い子牛価格が下落、低迷し畜産経営は厳しい。村内のセリ市は買い手市場となっており高齢母牛から産子されたり子牛は優良系統子牛でさえ買い叩かれる状況だ。現在課題になっている高齢母牛の更新を図るべく、平成22年度から「伊江村優良繁殖雌牛更新事業」を新規事業として予算計上し、今後3力年で高齢母牛の更新を支援する計画である。

本村の漁業生産額で最も大きいソデイカだが、平成20年度から燃油の高騰により、漁家経営は厳しくなっている。現在、燃油の価格は落ち着いてきているがまだ予断は許さない。新年度から村単独の助成事業として、アイザメの新漁法に対する助成を実施する。また、新規事業である「離島漁業再生支援事業」を活用して新たな加工品の開発、販売促進を支援し、漁家の所得向上を図りたい。

問 平成20年度で廃止となった子牛生産奨励費の復活、平成20年度国によって実施されていた飼料の助成、漁船の燃料助成、養殖漁業の飼料代の助成、あるいは、さとうきび・葉たばこ等への肥料費購入補助金の新設といった農家支援や漁家支援をこの不況が落ち着くまでの二、三年の間、期限を定めてでも、具体的な村民経済支援を村で実施すべきではないか。

答 今年から来年に向けて大型事業の拠出金が出てくる。財調の取り崩しは、後年度における財政支援の計画、地域振興のあり方等を勘案しなければならない。それらの支援を全くしないというのではなく、漁協や和牛改良組合との調整、村民の動向も把握しながら検討していく。

問 本村はこれまで歴代為政者の賢い財政運営によって、財政調整基金が同規模市町村と比べても多く積み立てられている。それらが将来の財政運営健全化のための積立金であることは百も承知だが、この不況下において、村民の経済支援のために緊急支出もやむを得ないのでは。

答 今年から来年に向けて大型事業の拠出金が出てくる。財調の取り崩しは、後年度における財政支援の計画、地域振興のあり方等を勘案しなければならない。それらの支援を全くしないというのではなく、漁協や和牛改良組合との調整、村民の動向も把握しながら検討していく。

本村の防災体制はどうなっているか

村長／防災計画を早期に見直し、啓蒙活動を行う

問 2月27日午前5時31分ごろ、沖縄本島近海を震源地とするマグニチュード6・9の強い地震があり、本村も震度3弱を記録した。大きな災害もなく安堵していたが、翌日28日には、チリ地震の影響で午前9時33分に津波警報が発令され、本村においても対策本部が設置され、消防団員や役員職員を招集し、海岸線のパトロールや老人ホームいえしまや具志団地住民へ避難指示を行うなど、村民の安全確保に頑張っていた。

沖繩には大きな地震はないと思っていたのは間違っていた。いざというときの避難場所や避難経路などを普段から考えておくべきだと感じた。この2日間の教訓を生かし今後の防災体制のあり方について考える機会とするため次のことを質問する。

① 村内において地震などの場合、避難場所としての指定できる場所はどこの施設があるか。

② 避難場所への誘導方法等のマニュアルが作成されているか。住民へ今後どのように啓蒙していくか。

答 ① 現在、避難場所として指定しているのは、各区の公民館、中央公民館改善センター、3学校である。しかし、これらの避難場所はすべての災害に適用しない。例えば、津波が数メートル規模、あるいはそれ以上と予想された場合は、阿良区の公民館等、低地にある施設は避難場所として適当ではない。ケースバイケースで避難場所を指定する必要がある、場合によっては、指定していない公共施設（福祉センター、はにくすに等）も事態に合わせて指定することもある。

② 「伊江村地域防災計画」がある。その計画で示されたマニュアルに基づき、災害時における避難場所の指定、誘導、広報活動、負傷者への対応、炊き出し、各機関への応援依頼等を行うが、最近では各種組織・

連絡体制が細分化、複雑化し、現状に即した計画となっていない。

また、12月補正で計上した「全国瞬時警報システム整備事業」で整備するシステムでは、地震や津波が発生した場合、気象庁から無線により自動で機器を起動し、屋外放送施設や戸別受信機で村民により早く災害発生情報を伝達することができる。

その整備と同時進行しながら、できるだけ早いうちに防災計画の見直しを行い、ホームページや広報誌を通じて啓蒙活動を行う。

行う。

問 一人住まいの高齢者、老人ホーム、介護関係の方々等の避難場所を優先的に設備の整った改善センターにできないか。

答 可能である。老人、幼児、子どもや女性、病弱な方々を優先的にやるべきだと思う。

問 今回の地震等に限らず、身近で急病人や事故など

急を要する事態に遭遇すると、人はパニックに陥って、どこに連絡をした方がいいのか、瞬時に判断できなくなると思う。今後、災害・緊急時に応じた連絡先、電話番号等を見やすく、わかりやすくパンフレットを作成して各家庭に配布できないか。

答 マニユアルを早期に整備し、各家庭における緊急安心・安全でこの島に住めるような環境、連絡網を徹底していきたい。



渡久地政雄 議員

肉用子牛・重要野菜の 価格安定対策事業の 見直しを

農林水産課長／県への要請を検討する



議員 實 嘉 名

問 県和牛子牛価格安定特別対策事業は、県内6市場の規格雌子牛の平均価格が基準価格(27万3000円)を下回った場合に補てん金が交付される。

本村の雌子牛セリ価格は、平成17年12月の46万4000円をピークに、平成21年10月の26万円まで下落し、低迷が続いている。平成21年5月と11月の二度、補てん金が交付されたが、飼料等の高騰によつて畜産経営は非常に厳しい。補てん金交付基準価格を生産費の上昇を反映した額に見直すべ

きではないか。

答 基準価格は平成20年7月に27万円から27万3000円に増額されている。平成21年度は、月ごと(本来は4半期)の販売平均価格に対して補てん金を交付する改善も行われている。制度は県の負担金だけで成り立つておらず、2分の1は生産者負担でもあるので、生産者の意向も確認し、子牛の市況の推移を考慮しながら、県連絡協議会で県に対して要請を検討する。

問 わずか30000円の引き上げであり、補てん金が交付されたのもわずか2回である。セリの平均単価が生産費を下回っており、このままでは再生産は不可能である。基準価格の改定まであと1年以上あるが、果たしてその間、畜産農家は生き残っていきけるのか。保証基準価格の改定を強く求めると同時に、この改定がされるまで村独自の農家支援策をやるべきではないか。村長はどう考えるか。

答 現段階では高齢母牛の更新奨励を考えている。生産費等の問題については、和牛改良組合や畜産農家の皆さんから直接、具体的な話は上がっていない。ひとつの課題として十分検討しながら、財政的な面も考慮し今後に備えたい。

トウガンの売り上げは、平成13年度、1億6600万円余(生産約1029トン)から平成20年度、2226万円(約165トン)まで衰退している。減産の最大要因は単価の下落である。価格安定対策の基準価格には、保証基準価格と最低基準価格があり、周辺離島は180円〜160円で、160円以下は保証対象にはならない。このしくみを改善し、肥料、燃料、農薬等の生産費の高騰を反映したものに

答 この事業の目的は、県外市場で保証基準価格を下回った場合、本土市場までの輸送経費を補てんするものである。制度上、160円以下は輸送経費に含まれないため対象外となっており、平成20年度から平成22年度までの3年間は最低基準価格の見直しはできない。

問 トウガンの場合、現制度の補てん金額は最大で20円である。しかし、実際の輸送費は、伊江島から県外までキロ当たり約40円かかる。交付金額の合計も5月で95万円(73トン)、6月で81万円(40トン)とわずかである。最低基準価格を改定し交付額を倍にすることで、農家の生産意欲も増すのではないか。

答 県農林水産部との連絡協議会のなかで、共通課題として取り上げていければと思う。それまでに農家と話し合いを持って、今後の対策、要望等を聞いていきたい。

問 重要野菜価格安定対策事業の対象となる村内産野菜は、県内市場でトウガンとラッキョウ。県外市場でインゲン、トウガン、里芋、ゴーヤーの4品目である。

答 この制度も県・市町村の負担金だけでなく3分の1は生産者負担でもあるので、生産者の意向も確認し、高騰時に特別制度を設けられないか、県連絡協議会で県

○その他の質問○
「ジェネリック(後発医薬品)の使用促進について」
価格の安いジェネリック医薬品の使用促進は、国保税の軽減にもつながると思うが、村はどのような取り組みをしているか。



内田 竹保 議員

イージマグチを後世へ

教育長／地道な取り組みで
方言を使う気運を高めていく

問 伊江島の方言（イー

ジマグチ）は戦前、戦後を通じ村民だれもが主流であったが、生活様式の変化や世代交代によって

共通語が主流になり、近年イージマグチがだんだん衰退している。イージ

マグチは他地域に類を見ないアクセントで、共通語（ヤマトウグチ）では表現できない、純粹に語りかける素材さや情がある。

現在、夕刻の帰宅放送や両小学校の学芸会で方言を導入するなど学校現場でも取り入れられているが、現状は、小中学生

のみでなく青年層のほとんどが、シマグチが言えない、聞けない状況であり、後世に残すためにも大きな課題だと考える。

答 これまでの学校現場や青年層への方言指導、取り組み状況は。

答 学芸会における取り組みのほか、両小学校では、地域ボランティアを活用してのイージマグチを織り交ぜた朝の読み聞かせ。

伊江小学校の読書月間で、子どもたちに島の代表的な民話をイージマグチで

語らせる試み。西小学校の「ふれあい給食」で、お年寄りの皆さんと給食

を食べながらイージマグチや地域文化とじかにふれあう取り組み。中学校では、島のお年寄りによる民話講演会の開催や、

独居老人宅を清掃後、お年寄りから昔話を聞き取る活動などを行っている。

問 学校現場で授業の一環として、方言教室の開催はできないか。

答 小学校では、「総合学習」の一環として方言教室を開催するのは可能だが、講師の選定が課題となり、地域の協力的な支援が必要である。中学校では、新学習指導要領で総合的な学習の時間が大幅に削減され、進学に伴うキャリア教育・島立の教育等の比重も大きいことから、慎重な検討が必要である。

問 青年層への方言教室の開催はできないか。

答 イージマグチの調査研究を続けている生塩睦子先生が島を訪問された際、方言講座を開催していただいてる。昨年8月は「若い人のためのイージマグチ講座」を開催し、教師や読み聞かせサークルの皆さんが受講した。今後は青年会とも連携し、幅広い世代が参加可能な講座を開催したい。

問 「イージマグチの日」を定め、シマグチ大会やイベントの開催はできないか。

答 シマグチの継承・活用は、早急に取り組まなければならぬ課題であり、「イージマグチ講座」などの地道な取り組みで村民の方言を使う気運を高めていく必要性を感じている。生涯学習まつりなどを通して、イージマグチにちなんだ行事の開催が企画できないか検討したい。

問 小学校の授業で方言教室を開催するには講師の選定が課題ということだが、地域にはイージマグチの衰退を認識されていて、お願いをされたら即引き受けてくれる大先輩方がいらつしやると思う。教育委員会が中心となり関係者と真剣に人選をしてお願いすれば、それほど課題ではないのでは。

答 現在、公民館講座はパソコン教室などを単発的に開催している。公民館講座での開設も前向きに検討したい。

問 以前は、いろいろな公民館講座が開催されていたが現在もあるのか。公民館講座で青年層向けにイージマグチ講座を開設してはどうか。

答 現在、公民館講座はパソコン教室などを単発的に開催している。公民館講座での開設も前向きに検討したい。

詳しくは・・・

議会の内容をさらに詳しく知りたい方は、各区分公民館、中央公民館図書室、村議会ホームページで会議録をご覧ください。

答 現在、公民館講座はパソコン教室などを単発的に開催している。公民館講座での開設も前向きに検討したい。

第3回定例会 議案等の概要と審議結果 平成22年3月9日～18日

議案番号	件名	概要	結果
同意第1号	教育委員の任命について	名城政英氏（再任）の任命に同意する。	同意 (全会一致)
同意第2号	固定資産評価審査委員の選任について	大城健男氏（新任）の選任に同意する。	同意 (全会一致)
同意第3号	固定資産評価審査委員の選任について	友寄正毅氏（新任）の選任に同意する。	同意 (全会一致)
同意第4号	固定資産評価審査委員の選任について	名嘉良雄氏（新任）の選任に同意する。	同意 (全会一致)
議案第6号	平成22年度伊江村一般会計予算	2～3ページ参照	原案可決 (賛成多数)
議案第7号	平成22年度伊江村診療所特別会計予算		原案可決 (全会一致)
議案第8号	平成22年度伊江村国民健康保険特別会計予算		原案可決 (全会一致)
議案第9号	平成22年度伊江村老人保健特別会計予算		原案可決 (全会一致)
議案第10号	平成22年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算		原案可決 (全会一致)
議案第11号	平成22年度伊江村水道事業会計予算		原案可決 (全会一致)
議案第12号	平成22年度伊江村船舶運航事業会計予算		原案可決 (賛成多数)
議案第13号	平成21年度伊江村一般会計補正予算（第9号）	現在の歳入歳出予算総額に9,370万2千円を増額。10ページ参照。	原案可決 (全会一致)
議案第14号	平成21年度伊江村診療所特別会計補正予算（第5号）	補正額0円。医薬材料費等の増により、210万円を歳出科目の予備費から医薬費に組み替える。	原案可決 (全会一致)
議案第15号	平成21年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	現在の歳入歳出予算総額に1,559万3千円を増額。主に実績見込みによる一般被保険者療養給付費の増。	原案可決 (全会一致)
議案第16号	平成21年度伊江村老人保健特別会計補正予算（第2号）	現在の歳入歳出予算総額に30万円を増額。実績見込みによる医療給付費の増。	原案可決 (全会一致)
議案第17号	平成21年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	現在の歳入歳出予算総額に96万5千円を減額。主に国の軽減措置による特別徴収保険料の減。	原案可決 (全会一致)
議案第18号	平成21年度伊江村水道事業会計補正予算（第2号）	現在の資本的収入支出予定額に7,200万円を増額。配水管・送水管の工事費の計上による増。	原案可決 (全会一致)
議案第19号	平成21年度伊江村船舶運航事業会計補正予算（第2号）	現在の収益的収入支出予定額に3,842万1千円を増額。主に実績見込みによる旅客運輸収益の増。	原案可決 (全会一致)
議案第20号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	村一般職員の期末手当との均衡を考慮し、村長、副村長、教育長の期末手当の支給割合を引き下げる。	原案可決 (全会一致)
議案第21号	伊江村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	村一般職員の期末手当との均衡を考慮し、議員の期末手当の支給割合を引き下げる。	原案可決 (全会一致)
議案第22号	伊江村手数料条例に関する条例の一部を改正する条例	県から屋外広告物関連事務の移譲に伴う条例改正。屋外広告物の許可申請手数料を定める。	原案可決 (全会一致)
議案第23号	伊江村文化財保護条例の一部を改正する条例	文化財保護法の一部改正（平成11年法律160号）に伴い、所要の文言整理を行う。	原案可決 (全会一致)
議案第24号	伊江村B & G海洋センター管理条例の一部を改正する条例	2階トレーニングルームの使用料を定める。 【午前9時～午後5時】 中学生100円、高校・大学生150円、一般200円 【午後5時～午後9時】 中学生150円、高校・大学生200円、一般250円	原案可決 (全会一致)
議案第25号	伊江村家畜市場の指定管理者の指定について	指定管理者 沖縄県農業協同組合 代表理事理事長 伊波榮雄 指定期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日	原案可決 (全会一致)

(9) 議会広報 いえそん

議案番号	件名	概要	結果
議案第26号	伊江村農産物第2集出荷センターの指定管理者の指定について	指定管理者 沖縄県農業協同組合 代表理事理事長 伊波榮雄 指定期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日	原案可決 (全会一致)
議案第27号	伊江村花き集出荷場の指定管理者の指定について	指定管理者 沖縄県花卉園芸農業協同組合 代表理事組合長 外間勝嘉 指定期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日	原案可決 (全会一致)
議案第28号	伊江村村民レク広場の指定管理者の指定について	指定管理者 (株)伊江島カントリークラブ 代表取締役 新城良和 指定期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日	原案可決 (全会一致)
議案第29号	伊江村屋外運動場施設の指定管理者の指定について	指定管理者 (株)伊江島カントリークラブ 代表取締役 新城良和 指定期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日	原案可決 (全会一致)
議案第30号	農業用機械購入(地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業)の契約について	契約の方法 指名競争入札 契約金額 1,197万円 契約の相手 くみき伊江農機整備所	原案可決 (全会一致)
議案第31号	伊江村学校ICT備品購入(学校情報通信技術環境整備事業)の契約の変更について	変更による増額 119万700円 変更後の契約金額 2,282万700円	原案可決 (全会一致)
議案第32号	阿良地区集会所施設建設工事(建築工事)工事請負契約について	契約の方法 指名競争入札 契約金額 6,930万円 契約の相手 (有)蔵下組・(有)宮城組 建設工事共同企業体	原案可決 (全会一致)
議案第33号	平成21年度伊江村一般会計補正予算(第10号)	繰越明許費に、浮魚漁漁場整備事業費475万円を追加する。	原案可決 (全会一致)
意見書第2号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書	深刻な多重債務問題を解決するため、国に対して次の施策を求める。①改正貸金業法の早期完全施行。②自治体での相談窓口を拡充するための支援。③セーフティネット貸付の充実。④ヤミ金融の徹底摘発。	原案可決 (全会一致)
決議第2号	含みつ糖振興対策に関する要望決議	国、県に対して次のことを要望する。①含みつ糖生産農家と含みつ糖企業の経営安定に向け、分みつ糖地域と同等の支援策を講ずる。②含みつ糖と再製糖との表示区分を明確にするため、含みつ糖の品質表示基準や原産国表示を規定する。③含みつ糖の市況安定を図るため、主産地においては専任職員による営農指導強化に取り組む。	原案可決 (全会一致)
決議第3号	北部地域救急ヘリ事業存続に関する要望決議	北部地域の医療格差を解消するため、国、県に対して次の施策を要望する。①民間救急ヘリ「メッシュ」を沖縄県ドクターヘリ2号機とする。②県立の中・南部の病院を核とし、県立北部病院等とドクターヘリ2号機を運用することを旨とする、医療連携体制の構築。③現在の県ドクターヘリと住み分けを行い、本島周辺離島各地域を過不足なくカバーできる体制の構築。	原案可決 (全会一致)
決議第4号	日米地位協定の見直しに関する要望決議	米軍基地に起因するさまざまな事件・事故から県民の生命・財産と人権を守り、県民の福祉の向上を図るため、国に対して日米地位協定の抜本的な見直しを行うよう要望する。	原案可決 (全会一致)
決議第5号	那覇空港拡張整備に関する要望決議	現在の那覇空港は、2015年頃には航空旅客需要の増加に対応できないとされており、また航空機事故などの際の代替機能確保の面からも第2滑走路の整備が必要であるため、国に対して滑走路間隔1,310m案による第2滑走路の早期整備を要望する。	原案可決 (賛成多数)
決議第6号	国立沖縄青少年交流の家存続に関する要望決議	国の「事業仕分け」において、国立青少年交流の家等は、国の事業としては廃止すべきとの評価がされた。渡嘉敷村の国立沖縄青少年交流の家は、離島という地理的・経済的条件から自治体・民間での維持・継続は大変困難である。この国の次代を担う青少年の健全育成の場として、今後も国が継続的に運営することを要望する。	原案可決 (全会一致)
決議第7号	飲酒運転及び未成年者飲酒問題の根絶に関する宣言決議	飲酒運転を根絶し、青少年の深夜徘徊や飲酒をなくし安全で安心して暮らせる社会と青少年の健全育成を確立するため、次の運動などを実践することを誓い、宣言する。①運転するなら酒を飲まない。②酒を飲んだら運転しない。③運転する人に酒を勧めない。④家族が酒を飲んだら迎える、安全に帰る、無事帰る。⑤少年に酒類を売らない、勧めない。	原案可決 (全会一致)
決議第8号	フェリー建造調査特別委員会設置に関する決議	フェリーが新しく建造されるにあたり、議会として先進の現場の状況調査をするため特別委員会を設置する。 1. 名称 フェリー建造調査特別委員会 2. 設置の根拠 地方自治法第110条及び委員会条例第5条 3. 目的 フェリーの新造船建造に関する調査 4. 委員の定数 10人(全議員) 5. 調査期限 調査終了まで閉会中もおこなう	原案可決 (全会一致)

平成22年 3月補正予算一覧表

会計名	補正後の予算総額(補正額)
一般会計	65億5,137万6千円 <small>(9,370万2千円)</small>
診療所特別会計	1億6,763万6千円 <small>(0円)</small>
国民健康保険特別会計	10億1,248万8千円 <small>(1,559万3千円)</small>
老人保健特別会計	1,400万8千円 <small>(30万円)</small>
後期高齢者医療特別会計	5,360万4千円 <small>(△96万5千円)</small>
水道事業会計	1億389万1千円 <small>※資本的支出 (7,200万円)</small>
船舶運航事業会計	5億5,119万3千円 <small>※収益的収入支出 (3,842万1千円)</small>

3月補正予算

3月定例会の補正で、一般会計予算に9,370万2千円が追加されました。

主に国の第2次補正で創設された地域活性化・きめ細かな臨時交付金(9,252万1千円)の計上による増額です。

この交付金は、老朽化した水道管の取り替え、教員宿舎のリフォーム、中学校のバックネット補強等の工事費に使われます。

補正予算質疑

問 戦跡保存費の追加刻銘手数料。芳魂之塔、LCT事故の刻銘追加はそれぞれ何人か。

答 芳魂之塔で追加刻銘9人、修正2人の合計11人。LCT事故の追加刻銘が4人。

問 保育所費の賃金237万3000円の増額。賃金は未払いなのか。

答 3月分の不足額である。2月分までは支払いが済んでおり未払いは生じていない。

問 街路樹や公園、村の公共施設等の樹木剪定は、ある程度の基準や方針を持って行っているのか。空間はいくらでもあるのに、上まで枝を詰めて剪定しているものもあるが、業者の感性に任せているのか。

答 ケースバイケースで業者と具体的な調整をしながら進めている。技術的な基準はない。

問 さとうきび原苗ほ設置委託料の説明で50aから70aへの増ということだが、植え付け場所はJAの農民農場なのか、または農家へ委託して栽培をさせているのか。

答 デイゴヒメコバチがデイゴに寄生し枯死させている。村内のほとんどのデイゴにも入っており、危機的な状況である。対策として、新芽が固まるま



ヒメコバチの被害で元気がないマーガのデイゴ

何種類あるのか。

答 設置委託は、農協に再委託している。品種は農林8号が30a、農林9号が20a、農林15号が15a、農林25号が5aの4品種である。

農林15号が黒糖に適した品種である為、もう少し普及させていければと思う。

問 この一、二年で村内のデイゴがほとんど枯れてきている。そのまま放置すれば、島からデイゴがなくなるのではないか。対策はあるのか。どういう病気なのか。

での約半年間、消毒を続けなければならず、村全域で防除するのは非常に困難。残すべきマーガやビーチのデイゴを重点的に消毒している。

問 幼稚園の特別支援教育支援員賃金44万円の減額。1日の賃金計算だったが、午前中で済ませたということだが、午前中で十分ということか。新年度は半日で計上しているのか。

答 本人の都合で午前中の勤務となった。支援員の希望者が少なく、仕方なくその方を採用した。幼稚園教育の充実のためには、1日2人体制が望ましいので、新年度は1日分で計上している。広報等で早めに募集をかけたい。

問 送水管整備は、実際は1800mくらいしかできないだろうとの説明だが、図面では2700m計画されている。どういふことか。漏水問題が指摘されるなか、早急に予算を組んでもこの区間を一気に仕上げるのが筋ではないか。

答 あくまで整備計画図であり、また全体の図面はできていない。計画は2700mだが、6050万円の予算でできる範囲は、2km弱を想定している。漏水箇所については、既に修理が完了している。

議案等の概要と審議結果

第4回臨時会 平成22年3月29日

議案番号	件名	概要	結果
報告第1号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提出について	「平成21年度伊江村教育主要施策」に掲げた学校教育、社会教育、社会体育の重点項目、優先事業がどの程度達成されているか等についての報告。	報告
議案第34号	平成21年度伊江村一般会計補正予算（第11号）	現在の歳入歳出予算総額に1,824万8千円を減額。主に実績見込みによる各事業費の減。	原案可決 (全会一致)
議案第35号	平成21年度伊江村診療所特別会計補正予算（第6号）	現在の歳入歳出予算総額に466万4千円を増額。主に実績見込みによる診療手数料の増。	原案可決 (全会一致)
議案第36号	平成21年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算（第6号）	現在の歳入歳出予算総額に247万4千円を増額。主に県の財政調整交付金確定に伴う国保財政調整基金への積立。	原案可決 (全会一致)
議案第37号	平成21年度伊江村水道事業会計補正予算（第3号）	現在の収益的支出予定額に640万円を増額。電気透析装置の故障による県企業水の受水費の増。	原案可決 (全会一致)



あいや いちやなていうよ～

平成22年3月定例会 予算質疑：アハシャガマの道路について



平成22年度予算の道路維持補修費でガードレールの撤去とフェンスが移動されました。平成22年4月30日に道路整備が完了しました。道幅も広くなり安心して通行できるようになりました。

質問
アハシャガマの道路は、ガードレールとゴルフ場のフェンスが突き出ているため、道幅が狭く、車が交差できない状況だ。ガードレールさえ取り除けば交通に支障がなくなる。検討できないか。

答弁
移動が可能か現場を見て検討したい。



平成21年議会運営の状況 (平成21年1月1日～12月31日)

平成21年の伊江村議会の運営状況は次のとおりです。

区分	回数	延日数	本会議	特別委員会	村長提出議案	議員提出議案	一般質問	傍聴人
定例会	4回	16日	13日	2日	71件	2件	10人	25人
臨時会	9回	9日	9日	0日	29件	1件	0人	2人
計	13回	25日	22日	2日	100件	3件	10人	27人

議会の活動

平成 22 年 3 月

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------|
| 1日 村国営土地改良事業推進協議会 (議長) | 部広域市町村圏事務組合議会定例会 (議長) |
| 2日 議員全員協議会 | 29日 第4回臨時議会 |
| 3日 議会運営委員会 | 30日 村社会福祉協議会評議員会 (議長) |
| 8日 村地域活性化交流促進協議会 (議長) | 31日 退職者辞令交付式 (議長) |
| 9日 第3回定例会 | |
| 12日 伊江中卒業式 (議員) | |
| 13日 ファーマーズやんばる店・伊江島特産品フェア(議長) | |
| 14日 名桜大学卒業式 (議長) | |
| 19日 伊江・西小卒業式、伊江島バイオエタノールプラント閉幕式 (議員) | |
| 20日 伊江村郷友会親睦・交流ゴルフ大会 (議員) | |
| 24日 平成21/22年期さとうきび出荷実績報告会及び臨時総会 (議長) | |
| 25日 名桜大学公立大学法人化感謝の夕べ (議長) | |
| 26日 陸上自衛隊第15旅団新編行事 (議長) | |
| 27日 北部市町村議会議長会定例理事会・総会、北 | |



▲玉城局長退職記念撮影 (第4回臨時議会)

平成 22 年 4 月

- | | |
|---|--|
| 1日 辞令交付式、北部広域市町村圏事務組合議会臨時会 (議長) | 25日 米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める県民大会 (議員) |
| 3日 名桜大学入学式、北部地区医師会附属病院(心臓血管センター)開院記念式典・祝賀会 (議長) | 27日 つるま市議会・南城市議会へ県離島振興町村議長会への加入要請 (議長) |
| 6日 琉球新報活動賞・地域伝統文化功労賞合同祝賀会 (議員) | 28日 県町村議会議長会定例理事会、県・市町村行政連絡会議 (議長) |
| 8日～9日 宮古島市議会・石垣市議会へ県離島振興町村議長会への加入要請 (議長) | 30日 フェリー建造調査特別委員会 (議員) |
| 10日 第18回伊江島一周マラソン大会 (議員) | |
| 12日 イージマ郷友会高校新入学生激励会 (議長) | |
| 15日 伊江村振興計画審議会 (議長) | |
| 16日 村青年会総会 (議長) | |
| 17日 第15回伊江島ゆり祭りオープニング(議員) | |
| 18日 アーニーパイル慰霊祭 (議長) | |
| 19日 県道路関係6団体理事会 (議長) | |
| 21日 芳魂之塔平和祈願祭 (議員) | |
| 村婦人会総会 (議長) | |
| 22日 村老人クラブ連合会総会 | |
| 新任教職員歓迎会 (議員) | |



▲伊江島ゆり祭りオープニング

平成 22 年 5 月

- | | |
|---|---------------------------|
| 8日 沖縄県スナッグゴルフ伊江島大会 (議員) | 22日 やんばる駅伝競走伊江島大会 (議長) |
| 11日 北部広域市町村圏事務組合議会臨時会、北部市町村議会議長会第1回理事会・総会 (議長、局長) | 24日 村社会福祉協議会評議員会 (議長) |
| 15日 沖縄県植樹祭 (議長) | 25日 村人材育成会理事会・評議員会 (議員) |
| 17日～20日 フェリー建造調査特別委員会視察 (議員) | 25日～27日 全国離島議会議長会役員会 (議長) |
| | 28日 村商工会総会 (副議長) |

議会中継 やっています!

役場庁舎1階、各区公民館、3学校など、村内の公共施設に設置されたパソコンやテレビで議会(定例会のみ)のライブ中継をご覧いただけます。

人事異動のお知らせ

平成22年3月31日付 定年退職
議会事務局長 玉城 徳久

平成22年4月1日付 ()は前職
議会事務局長 照屋 善市(企画総務課長)

伊江村議会ホームページで最新情報を!

<http://www.iejima.org/iegikai/>
(伊江村のホームページからもアクセスできます。)